

主 文

本件特別抗告を棄却する。

理 由

申立人の抗告理由（後記）について。

所論は、憲法違反、判例違反をいうけれども、その実質は、単なる法令違反、事実誤認を主張するものに過ぎないから採用することができない（なお刑訴規則二八六条に関する原判示は正当である）。

よつて、刑訴四三四条、四二六条一項により主文のとおり決定する。

昭和三二年一〇月二三日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	小	谷	勝	重
裁判官	藤	田	八	郎
裁判官	河	村	大	助
裁判官	奥	野	健	一